

# 13-8 川辺仏壇のデザイン改良に関する装飾部材の互換性研究

山田式典・田原健次

## 1. はじめに

カジュアルな仏壇の製品化に関し既製仏壇を利用した現実的新製品開発対策として装飾部材及び外装様式の互換性等に係るデザイン改良のマニュアル資料を作成し業界の利用対策、開発費用のリスク軽減等に役立て産地の活性化を側面より図るものである。

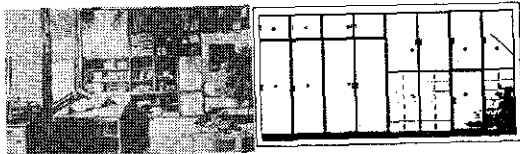
## 2. デザイン改良項目……下記事項の条件設定により

マニュアルを作成した。(各項目別図面参照)

- (1) 既製家具等を利用するユニット手法 (図-1)
- (2) 既製仏壇の多様な彩色化 (図-2)
- (3) 部材の互換性向上対策
  - ① 天ぶち、鉢巻き部分の改良 (図-3)
  - ② 前面構造部の装飾改良 (図-4)
  - ③ 両面開戸(4面)の装飾改良 (図-5)
  - ④ 枠形のライン改良 (図-6)
  - ⑤ 木地部材の互換性研究 (図-7)
- (4) 家具調仏壇のデザイン開発 (図-8)
- (5) 内面蒔絵図柄の再構成 (図-9)
- (6) その他
  - ① 作業場レイアウト (図-10)
  - ② 耐需用固定用具 (図-11)

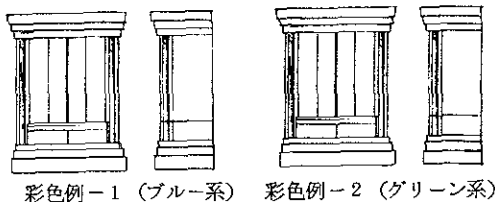
### = 項目別解説 =

(1)項に関して……壁面家具等システム性用具(代表例…ビルトイン家具)へのセッティングを考慮したものである。(ユニット例)

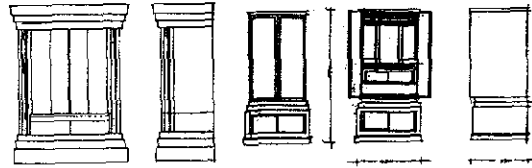


(図-1) (WG、MD誌より、製品写真参照)

(2)項に関して……唐木仏壇タイプを対象にカラフルな彩色化を施し、室内用具としての適用性を高めることを考慮した。



彩色例-1 (ブルー系) 彩色例-2 (グリーン系)



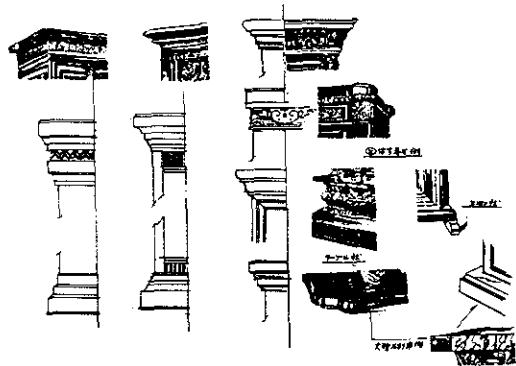
彩色例-3 (レッド・オレンジ系) 彩色例-4 (レッド・オレンジ系) (図-2)

(3)項に関して……部品取換えで各種形態を創造する。

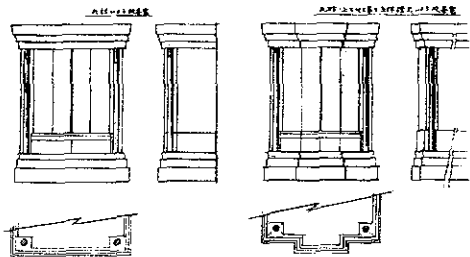
①について……上部装飾部材に洋家具支輪等の伝統形態を利用し従来の仏壇イメージの刷新に役立てる。なお支輪部と台輪を一体的に総めることで効果的立体構成が出来た。

②について……改善案2種

- a. 丸柱を利用する効果的レイアウト
- b. 開戸の立体構成化でデコレーションを一新 (平面図参照)



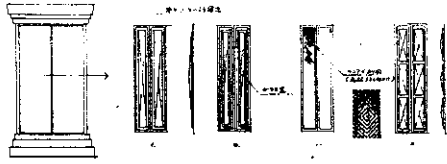
(図-3) ① 図解 (洋家具洋式集より参照)



前面構造の改善 (丸柱利用等によるデザイン)

(図-4) ② 図解

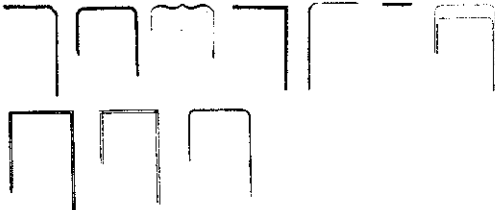
③について……既製仏壇の四方開き戸の伝統形態の一新を目的に立体的デコレーションを構成した。



前面とびらのデコレーションに関するデザイン的具体例  
(図-5)

④について……従来の伝統的枠形に、家具当に用いられるラインを応用しイメージ一新に役立てる。

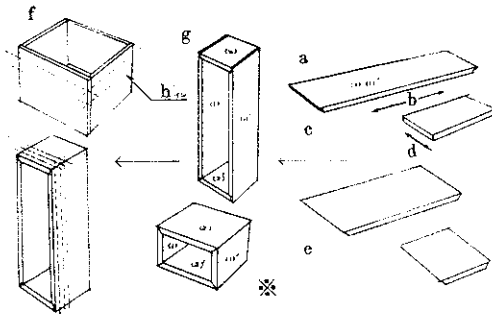
・組み枠のライン・デザイン



(図-6)

⑤について……部材の互換性向上に関する改善案

- 1) 規格部材のストックと多角的利用
  - イ. 部材の規格統一を図る
  - ロ. 最大サイズで一律加工
  - ハ. 品種別サイズに切断→組立て
  - ニ. 輪切式切断による製作→加工



(図-7)

- a. 部材加工
- b. 長さ方向
- c. 対象
  - (大)……とびら
  - (小)……ランマぶち等
- d. 巾方向
- e. 対象
  - (大)……上下はち巻き
  - (小)……猫戸等

※ かがみ板等用のシャクリ込みは予め、板状(巾広)でシャクル。

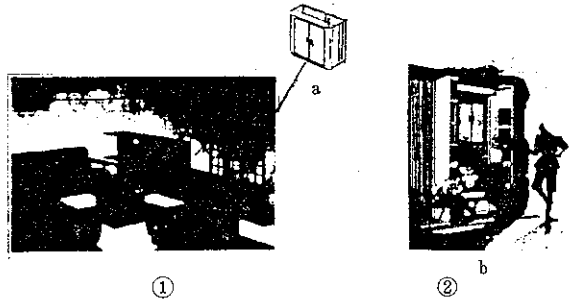
- f. 切断
- g. 組み立て
- h. 輪切り切断ライン

2) 期待される効果

- イ. 作業効率の向上 (ロスタイムの除去)
  - ロ. 部材の精度向上
  - ハ. 工程管理の向上 (チェック機能の向上)
  - ニ. 品質 " (不良品の減少)
- 以上による、コスト・ダウン

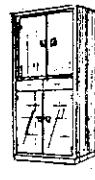
(4)項に関して

- ① ロータイプ家具等とのセッティング可能な家具調度品として
- ② モダン家具等セッティング品として
- ③ 通常タイプの家具との組み合わせ



①

②



- a. レイアウト
- b. 収納式
- c. 仏壇家具

③

合成写真: ① 森繁家具ローボード・カタログ・写真参照  
② W・G、MD誌より参照

① 図解

(応用高級和家具を対象とする組み合わせ例、ローボード等にセット、うるし高級仕上げ品)

② 図解

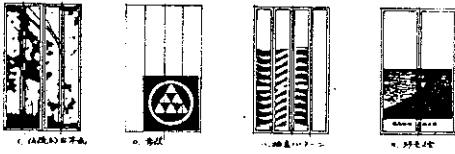
(機能家具(モダン・タイプ)にセッティング例)

③ 図解

(多目的収納家具との組み合わせ例、簡易仏壇のニュータイプの量産品として今後の市場性が充分期待出来る)

(5)項に関して……花鳥中心の従来のパターンに変わるものとして自由発想で、抽象パターンから幾何、浮世絵、伝統的日本画を対象に構成し斬新性を求めた。

内面蒔絵の図柄構成例



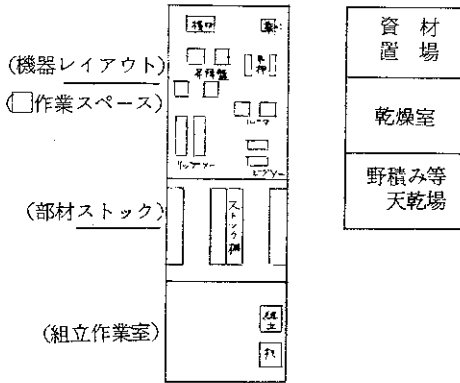
(図-9)

(6)項に関して……上記以外に仏壇に必要と考えられる基本的な事項を次のとおり総めた。

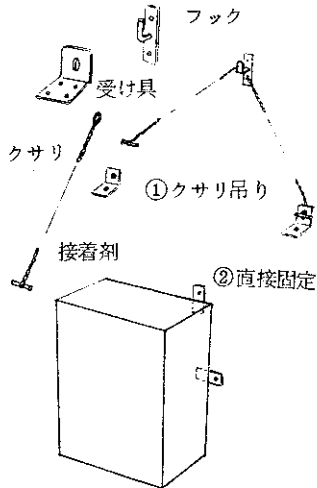
①について……特別仕様部材の製作に適する小規模の工場レイアウトを下図のとおり試案した。

②について……大型仏壇の重量は一般的に20kg～数百kgまで各種あるが前倒防止用具のセット金具の基本的な製作要領を試案した。(市販品 参照)

木地部門工場レイアウト基本



(図-10) ① 図解



(図-11) ② 図解

3. 考察及び成果

以上総合的に改良可能な部分を抽出し具体的な改良デザインを多角的に検討出来る資料としてマニュアル化出来ることは一定の成果を得たものである。これにより今後中小企業が大きな開発リスクを伴わず現実的な改善の参考資料として活用出来ることは地場産業育成の見地から応分の指導効果が一段と高められよう。

なお今後の課題としては指物技法等木製品の高度製作技術を研鑽し品質の向上に努めなければならないが来年度も場主導で解決策を見出した。